

令和7年度事業報告

1. 概況

我が国の経済は、内閣府「年次経済財政報告」等によると、景気回復局面が戦後3番目の長さに達する中で、600兆円を超えた名目GDP、高い賃上げ率、過去最高を更新する設備投資など、これまでにない前向きな動きがあるものの、食料品など身近な品目を中心とする物価上昇の継続により、消費者マインドや実質賃金が下押しされ、個人消費の回復は力強さを欠く状態が続いています。これに加え、米国の第二次トランプ政権による広範な関税措置が、外需を通して我が国の経済を直接的・間接的に下押しするリスクをもたらしており、日本経済は内外需の両面から困難に直面しているとされています。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、令和6年11月から特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス法)が施行され、請負・委任形式で就業する会員もフリーランス(個人事業主)に該当することから、法律の趣旨に沿った契約方法の見直しや発注者への対応が求められ、厚生労働省ならびに全国シルバー人材センター事業協会より新たな契約となる「包括的契約」への移行が推進されました。また、シルバー人材センター運営に非常に大きな影響を及ぼすこととなった適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入されてから3年目となりましたが、特例となる経過措置として、免税事業者からの仕入れに係る控除率の緩和とともに令和13年9月末まで適用期限が延長されるなどの税制改正が実施されました。

当センターは、フリーランス法の趣旨を踏まえ、請負・委任契約について、令和8年4月以降を目途に伊丹市及び一般家庭などの発注者から順次、包括的契約への移行調整を進め、新契約にかかるシステム等の体制を構築しました。

当該年度は、新たに市立小・中・高・特別支援学校の学校施設管理業務、施設関連の清掃業務の新規受託がありました。一方、企業等の発注者において、業務仕様、就業規模の見直しや内製化により、事業計画の目標額11億円を下回りましたが、前年対比1.0%増加の約10億4,175万円の事業実績となりました。また、シルバー派遣事業についても、請負・委任契約と同様な傾向がみられましたが、選挙関連の臨時的な受注などがあり、目標額2.1億円を若干上回る前年対比0.1%増加の2億1,096万円となりました。

会員の確保については、毎月の入会説明会に加えて出張入会説明会をセンターイベント開催時に併せて開催するなど、会員の確保に努めました。入会者は前年度より2人多い293人の入会となり2年ぶりに増加に転じましたが、退会者は前年度と比べ2人多い319人となった結果、会員数は前年度と比べ26人減少の2,620人となりました。

財政面については、引き続きインボイス納税等消費税引当資産の積立を計画通りに行ったほか、センター事務所の老朽化が進んでいた高压受変電設備の更新、センター2階部分の照明設備のLED化、センター周辺の傷んだアスファルトの更新舗装を実施しました。

本年は、全国のシルバー人材センターの中で2番目となる設立50周年を迎え、記念式典を挙行了したほか、互助会事業において記念事業と銘を打ち、例年と違った企画のバスツアーや同好会などの発表会「シルバーフェスティバル」、また著名人を招聘した講演会などを開催し、多くの会員の参画を得て、センター設立50周年の大きな節目を会員の皆様とともに祝いました。また、これまでの50

年間、会員の皆様と歩んだセンターの活動が評価され、伊丹市より高齢者福祉、地域福祉の向上に大いに貢献したとして「ふるさと賞」を受賞することができました。

2. 主要事業

令和7年度の請負・委任事業実績は、契約金額10億4,175万円、契約件数4,191件となり、前年度に比べ契約金額は1,076万円、1.0%の増加、契約件数は122件、2.8%減少となりました。

また、会員の就業については、就業実人員1,722人、就業延べ人員196,208人、就業率65.7%、会員一人当たりの月間の平均値は、就業日数では9.5日、配分金では38,002円となりました。

詳細は、本紙の令和7年度職群別活動状況報告書のとおりです。

(1) 広報 PR 活動等

コロナ禍により減少した会員数及び事業量を回復すべく、求職者、発注者等との接点をもつ機会があるごとに、積極的に広報PR活動を実施しました。

- ① 子育て支援や高齢者支援、環境対策等、人手不足分野や社会的反響のある事業について積極的に事業に参入し、センターホームページや Facebook 等SNSの定期的な更新によるリアルタイムの事業活動の紹介
- ② センターホームページの全面リニューアル
- ③ ハローワーク主催のシニア世代対象の就職支援セミナーにおけるセンターの紹介及び入会案内
- ④ 伊丹地区メーデー、白雪まつり、サンシティホールイベントへの出店と朝市事業等における広報
- ⑤ 女性会員の交流と市民参加イベントとした第3回いたみジェンヌ「女性の集い」の開催
- ⑥ 『一人ひとりの会員が広告塔のシルバー人材センター』のモットーのもと、会員の情報提供の積極的な活用

(2) 会員の拡充

毎月開催している入会説明会にあわせて、市内イベントに赴き開催する出張入会説明会を計3回休日開催し、入会会員の確保に努めました。新規の入会会員は前年度と比べ2人の増加となりましたが、退会者も2人増加となり、会員数は26人減少の2,620人となりました。

- ① 市民参加型ワークショップ事業を通じた同年代女性間のコミュニティづくりと入会啓発の推進

- ・第3回いたみジェンヌ「女性の集い」の開催 2月21日(土) 64人(内、一般7人)参加
- ② 新規入会会員の確保事業「友人紹介キャンペーン」の実施 4人入会
- ③ 説明会に参加しやすいように休日での出張入会説明の開催
 - ・市立図書館ことば蔵 9月 7日(日) 43人参加
 - ・市立サンシティホール 9月14日(日) 14人参加
 - ・伊丹アイフォニックホール12月 6日(土) 29人参加
- ④ 女性会員のコミュニケーション・ネットワーク力等を活かした配偶者への入会勧誘及び夫婦登録会員の拡充
- ⑤ 朝市周年事業等における事業紹介及び会員勧誘

会員の構成は次のとおりです。

令和8年3月31日 現在

	男	女	計	備 考
60歳 未 満	0 人	2 人	2 人	平均年齢 75.61 歳
60歳～69歳	200 人	181 人	381 人	
70歳～79歳	823 人	788 人	1,611 人	最高年齢 男 96 歳 女 92 歳
80歳～89歳	313 人	287 人	600 人	
90歳 以 上	19 人	7 人	26 人	
合 計	1,355 人	1,265 人	2,620 人	

【入会及び退会状況】

	令和6年度末	入会者数	退会者数	令和7年度末
男 性	1,380 人	139 人	164 人	1,355 人
女 性	1,266 人	154 人	155 人	1,265 人
合 計	2,646 人	293 人	319 人	2,620 人

(3) 組織活動の活性化

理事会をはじめ、職群班・各種委員会・互助会等の組織活動についてセンターの現状や地域のニーズに即した組織づくりと充実を図り、会員の自主的運営の推進に努めました。

- ① 会員の誰もがができる範囲で気軽に参加できるボランティア活動として空き缶プルタブ集めやペットボトルキャップの回収活動の支援
- ② シルバーショップの生活困窮者等への家具等提供事業(伊丹市協定事業)の継続実施
- ③ 市内小学校等に手作り雑巾、介護施設にあて布を提供するボランティア活動の支援

(4) 就業に関する調査及び情報収集、提供

70歳までの就業確保措置の法制化、働き方改革の推進、少子高齢化による労働人口の低下等、刻一刻と変化する社会情勢を受け止め、事業所等発注者のニーズに対して情報収集を行い、適正に対応しました。個々の会員の就業ニーズ等については、就業相談窓口を中心により細やかな情報把握を行い、事務局全体で共有し、就業情報の提供や不安の払拭に努めました。

フリーランス法の施行に伴い厚生労働省ならびに全国シルバー人材センター協会が推奨する新しい契約方式「包括的契約」については、令和8年4月開始を目途に、伊丹市の関係部署をはじめ事業所等への調査案内、一般家庭への案内説明を行い、包括的契約への移行を進めました。また、会員に対しても会報誌「生きがい」で案内するとともに、包括的契約対象会員に会員情報提供ツール「Smile to Smile」を活用し会員業務委託仕様書の送信を行いました。

- ① 就業相談に関する対応経過等について業務システムを活用した職員情報共有と連携の強化
- ② フリーランス新法施行に伴うデジタル形式による就業条件明示書、会員業務委託仕様書の通知
- ③ ハローワーク、伊丹市社会福祉協議会との情報交換等を行い、シニア世代を必要とする求人情報や会員が貢献できる就業機会の情報収集、調査の実施
- ④ 就業情報のホームページ及びLINEアプリを活用した情報発信
- ⑤ 伊丹市ゴミ出し支援事業の情報収集及び支援対象外世帯に対する情報提供
- ⑥ 独自事業検討委員会等による独自事業の運営・収支状況の確認及び精査
- ⑦ 空き家管理業務に係る情報収集及びふるさと納税返礼品サービスの広報、情報提供
- ⑧ 新たな契約方式「包括的契約」移行に係る調査、情報収集及び会員への周知案内
- ⑨ 新たな指定管理業務、公共施設等の入札に関する調査、研究

(5) 就業機会の確保及び提供

会員の就業ニーズ等に即した事業の掘り起こしを行う一方で、会員の就業希望を最優先としながらも、会員の年齢や就業先までの利便性、職歴、センターにおける就業履歴等を勘案しながら、就業機会の提供に努めました。また、就業機会を逸している会員に対して、就業相談員を中心としたきめ細やかな就業情報の提供を行い、適材適所の就業機会の提供、就業のミスマッチの軽減に努めました。

就業に関して不安や就業会員の確保が進みにくい職種について就業体験事業を実施し、実就業へ繋げることができました。

- ① 高齢者層の生活援助(ゴミ出しの支援、簡易な家事支援等)、空き家管理サービス、住宅用火災報知機の設置等の受注拡大及び広報、情報提供の実施
- ② 介護・保育施設管理、清掃などの就業開拓及び既存受注事業所等からの受注拡大
- ③ 性別により就業機会を逸している清掃等に関する発注者への説明及び支援要請
- ④ 就業希望の多い職種では、ワークシェアリング(仕事の分かち合い)の推進
- ⑤ 就業体験事業を敷地内除草、施設清掃、植木剪定職種で実施(9人参加、3人実就業)

(6) シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の拡充

高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務、もしくはその能力を活用して行う高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第39条に規定する業務に係る雇用を希望する会員に対してシルバー派遣事業を拡充するため、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事務所として、派遣事業を実施しました。

令和7年度のシルバー派遣事業は、スーパーの閉店や派遣先の業務縮小等による減少がありました。伊丹市長選挙、参議院・衆議院議員選挙をはじめ、最低賃金の上昇に伴う派遣契約額の改定から、事業実績としては、前年度0.1%増加の契約額約2億1,096万円となりました。就業延べ人員については1.5%減少の34,401人で前年度から536人の減少となりました。

また、多様化する働き方の選択肢として、兵庫県シルバー人材センター協会と連携を図りながら臨時的短期的な雇用による就業を希望する会員等に、有料職業紹介事業の情報提供を実施しました。

(7) 安全・健康管理に関する事業の対策と実施

センターにとって安全就業は最重要課題と位置づけ、「安全はすべてに優先する」をスローガンとして、安全就業推進委員会を起点とした事故防止のための啓発指導、注意喚起等の情報発信を実施しました。請負・委任事業及び派遣事業の傷害事故件数は、昨年度に比べ12件減少の26件、1ヶ月以上治療者についても4件減少の10件となりました。3年連続して「傷害事故件数 兵庫県下ワースト1」という不名誉な記録となっています。とりわけ、就業途上の事故については、歩道の縁石に乗り上げる際、転倒するといった自損事故が一番多く発生し、特に重症化が見受けられました。また、賠償事故等については、近年減少傾向でしたが、6件増加の10件発生し、そのうち2件が100万円を超える高額賠償事故となりました。

安全に関する助成状況については、保険加入推進助成34件、熱中症対策助成68件実施しました。

- ① 会員の健康管理と安全就業の確保を最優先とした受注の徹底、危険作業は受注しない
- ② 安全就業の意識高揚を図るため日常及び定期的な安全パトロールの実施
- ③ 安全就業強化月間(夏季及び年末年始)の設定及び注意喚起
- ④ 車両運転業務に係る運転会員等にアルコール検知器による検知の実施
- ⑤ 公用車に自動ブレーキ等の安全運転支援機能を備えたサポカー導入の切替、推進
- ⑥ 傷害・賠償事故発生状況を会報誌に掲載、注意喚起
- ⑦ 自転車賠償事故に係る注意喚起及び賠償保険加入の推進、助成
- ⑧ 熱中症対策に係る熱中症指数の表示及び熱中症予防機能付き作業着の推進、助成、熱中症特別警戒アラート発令時における就業中止のルール化、熱中症初期対応フローの作成

- ⑨ 自転車交通反則制度(青切符制度)及び自転車事故に係る自転車ハザードマップの情報提供
- ⑩ 災害等の緊急対応に係る事務局体制の構築及び連絡体制の対応強化、契約条項の確認

【傷害(請負・派遣)事故月別発生状況】

(単位:件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和7年	1	1	1	4	2	3	0	2	4	2	4	2	26
令和6年	1	5	5	5	2	5	0	4	6	0	2	3	38

【傷害(請負・派遣)事故発生状況】

状況	件数 (件)	男女別(人)		平均 年齢	1か月以上 治療者 (人)	交通手段			
		男性	女性			徒歩	自転車	バイク	その他
就業者	18	男性	12	73.7	4				
		女性	6			1	5	0	0
就業者 途上	6	男性	4	75.8	4				
		女性	2			1	5	0	0
その他 (互助会)	2	男性	0	82.0	2				
		女性	2						
合計	26	男性	16	74.8	10				
		女性	10						

(8) 講習会、研修会の開催

業務の技能・知識・接遇等の向上を図るとともに、会員間のネットワーク構築を図るべく、会員のスキルアップに繋がる講習会や研修会などを積極的に開催しました。また、デジタルリテラシー対策としてスマートフォン相談窓口を設置し、会員情報提供ツール「Smile to Smile」の登録者数は1,219人(会員登録割合46.5%)となりました。

① 安全就業に関する各種講習会の開催

- ・屋外器具スキルアップ講習 (4月25日開催、25人参加)
- ・高齢者安全運転講習 (11月27日～2月12日、延べ63人参加)
- ・交通安全等講習 (2月25日開催、31人参加)

② 業務の就業に必須となる知識・技能の習得を目指した各種技能講習会等の開催

- ・おそうじ講習会 (6月10日開催、19人参加)

- ・救急救命講習会 (7月28日開催、16人参加)
- ・食品衛生講習会 (10月16日開催、18人参加)
- ・情報漏洩対策講習会 (2月5日～3月27日、延べ28人参加)

(9) 適正就業の推進

「適正就業推進要綱」に基づき、会員の理解と協力を得ながら、適切なローテーションや必要に応じて交代やワークシェアリング(仕事の分かち合い)を行ない、適正就業に努めました。また、適正就業ガイドラインに基づく就業形態・業務内容等の確認並びに派遣事業への切り替え等を逐次実施し、就業の適正化を一層進めました。

(10) 互助会活動(会員の福利厚生のための共益事業)

令和7年度は、センター設立50周年記念事業として大阪・関西万博バスツアー、日帰り旅行(3コース選択制)をはじめ、恒例のシルバークフェスティバル、シルバーク展、スポーツまつりに併せて、山田雅人氏による「かたりの世界」講演会、初めての企画となった互助会新年会など年間を通じて様々な記念事業として互助会事業を実施しました。また、同好会活動の支援、喜寿・米寿等のお祝い金、夫婦会員精励金の給付、近隣温泉施設の入浴券の斡旋等、会員の生きがいの醸成に寄与する活動を推進しました。

- ① 会員の親睦につながる旅行、同好会等の発表会の実施
- ② 同好会活動の育成と助成 (1同好会新設、1同好会解散)
- ③ 喜寿・米寿のお祝い金及び入会5年経過夫婦会員への精励金給付
- ④ 近隣温泉施設(宝乃湯、湯の華廊)の入浴券の斡旋
- ⑤ 有岡城址、中心市街地の清掃ボランティア活動の実施 (50人参加)

(11) 事務局の組織体制等

事務局職員の資質向上と事務局体制の強化を図るため、業務に有用な資格の取得を推進しました。今年度は、全国シルバー人材センター事業協会主催「経営力向上研修」、兵庫県シルバー人材センター協会主催「リーダーシップ研修」に職員を受講させるなど各種研修会の受講を積極的に進めました。また、課内における業務担当の変更等を実施し、様々な業務対応に係る冗長性を高め、職員の業務経験とスキル向上に努めました。

令和7年度 職群別活動状況報告書 (年度資料)

令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

会員数	男	1,355 (1,380)	女	1,265 (1,266)	計	2,620 (2,646)
	増減	-25	増減	-1	増減	-26

26名の減少
0.97% 減

職群	区分	年度	契約件数				契約金額				就業 実人員	就業 延人員	就業率
			公共	民間	合計	増減	公共	民間	合計	配分金			
1	技術群	R7	4	13	17		2,202,432	6,355,964	8,558,396	4,333,459	0	636	
		R6	3	15	18		2,085,830	6,254,155	8,339,985	4,271,182	0	626	
		増減	1	△ 2	△ 1		116,602	101,809	218,411	62,277	0	10	
2	技能群	R7	6	2,143	2,149		290,212	52,968,905	53,259,117	31,868,903	0	7,575	
		R6	5	2,220	2,225		190,960	54,161,778	54,352,738	31,888,672	0	7,796	
		増減	1	△ 77	△ 76		99,252	△ 1,192,873	△ 1,093,621	△ 19,769	0	△ 221	
3	事務 管理群	R7	1	39	40		1,185	9,740,023	9,741,208	8,551,865	0	1,863	
		R6	3	41	44		21,330	9,302,367	9,323,697	8,312,572	0	1,833	
		増減	△ 2	△ 2	△ 4		△ 20,145	437,656	417,511	239,293	0	30	
4	管理群	R7	28	50	78		110,481,939	105,584,449	216,066,388	151,437,611	0	31,444	
		R6	20	50	70		95,289,326	107,249,823	202,539,149	142,235,007	0	28,809	
		増減	8	0	8		15,192,613	△ 1,665,374	13,527,239	9,202,604	0	2,635	
5	折衝 外交群	R7	2	92	94		45,430	13,058,423	13,103,853	8,831,895	0	3,864	
		R6	5	130	135		111,628	17,350,712	17,462,340	11,420,111	0	4,831	
		増減	△ 3	△ 38	△ 41		△ 66,198	△ 4,292,289	△ 4,358,487	△ 2,588,216	0	△ 967	
6	一般 作業群	R7	88	1,308	1,396		86,489,674	541,357,641	627,847,315	488,425,996	0	120,424	
		R6	64	1,350	1,414		91,768,348	532,753,369	624,521,717	483,160,627	0	123,528	
		増減	24	△ 42	△ 18		△ 5,278,674	8,604,272	3,325,598	5,265,369	0	△ 3,104	
7	サービス群	R7	25	392	417		10,700,490	102,470,697	113,171,187	91,822,465	0	30,402	
		R6	23	384	407		10,183,528	104,264,502	114,448,030	92,940,911	0	32,888	
		増減	2	8	10		516,962	△ 1,793,805	△ 1,276,843	△ 1,118,446	0	△ 2,486	
8	その他	R7	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
		R6	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
		増減	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
合計		R7	154	4,037	4,191		210,211,362	831,536,102	1,041,747,464	785,272,194	1,722	196,208	65.7%
		R6	123	4,190	4,313		199,650,950	831,336,706	1,030,987,656	774,229,082	1,725	200,311	65.1%
		増減	31	△ 153	△ 122		10,560,412	199,396	10,759,808	11,043,112	△ 3	△ 4,103	

2.83% 減

1.04% 増

1.43% 増

0.17% 減

2.05% 減